

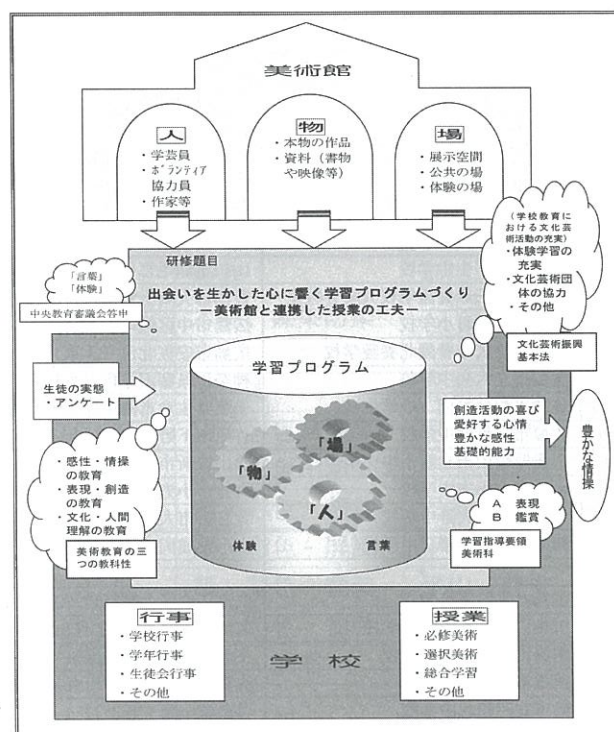
7 教員長期研修（県立美術館派遣）

研修の概要

学校と美術館との連携を推進する方策のひとつとして教員長期研修生を昨年に引き続き受け入れた。この研修は県教育委員会義務教育主管課が所掌するもので、当館派遣では図画工作科、美術科及び総合的な学習の時間等全般を対象とする教育実践に役立つ課題を研修することを目的としている。

研修の実施に当たっては、各研修生がそれぞれの課題に沿って研修テーマを設定し、研修の具体的な内容や方法、日程等を計画して自主的に進める。当館としては研修をサポートするとともに、美術館諸事業への参加等の研修機会を提供した。

平成18年度は中学校教諭1名を研修期間半年間（4～9月）で受け入れた。研修終了後は教育現場での研修成果の検証・発展が期待される。



研修構想図（三柵教諭作成）

研修の実施状況

研修生氏名	三柵 明子
所属校	廿日市市立大野東中学校
研修題目	出会いを生かした心に響く学習プログラムづくり -美術館と連携した授業の工夫-
研修題目設定の理由	知識や技能の習得を重視した教師指導型による表現や鑑賞の授業展開への反省から、生徒の感動や発見、探求心や向上心を呼び覚まし、生涯に渡って美術を愛好することができるような、心に響く授業にするためには、地域や専門機関の人材や教材を活用した、多様な体験や生活に活きる活動が重要であると考えた。
研修内容	美術館と連携し、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、豊かな情操を養う学習プログラム作りに取り組んだ。 〈キーワード〉 ○文化・芸術の専門的な「人」との出会い（学芸員、作家、ボランティアなど） ○「作品」との出会い（本物の作品や書物、映像の資料など） ○地域や公共の「場」との出会い（美術館など）
研修日程	4月 研修題目の設定、研修計画の立案、研修構想図の作成 5月 研修に必要な資料の収集と文献研究 5月～6月 学習プログラムづくり 6月～8月 実態調査と検証授業 8月～9月 研修のまとめと研修報告書の作成 その他 美術館諸事業の体験・実習
研修の成果	○県立美術館所蔵作品を利用した教材開発（アートカード、展覧会メイキングプレゼン） ○県立美術館所蔵作品を利用した学習指導案（鑑賞と作品制作「励ましの面」、学芸員とのチームティーチング） ○実態調査の分析と考察（美術の学習・美術館に関する生徒の意識・実態）